

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	(第 80 回 日本大腸肛門病学会学術集会) 当院における大腸憩室炎における治療成績と手術適応に関する検討
研究責任者（所属名）	黨 和夫（消化器外科部長）
本研究の目的	266例という多数の大腸憩室炎症例を検討することで、初診時に手術を行うべきか、保存的治療が可能であるかを推測する指標を得ることができる可能性があります。
調査データの該当期間	2014 年 1 月から 2024 年 12 月までの 11 年間
研究の方法 (使用する試料等)	2014年1月から2024年12月までの11年間に当院で経験した大腸憩室炎症例は266例を対象とした。保存的治療群が204例で手術治療群が62例で、2群間の比較検討を行った。さらに、手術治療群を開腹群40例と腹腔鏡群22例に分け周術期の各種パラメータを比較検討しました。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:0954-43-1120(病院代表) 担当者:管理課長
備考	